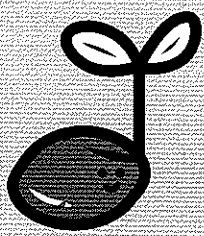


ボランティア・市民活動情報誌

OITA



ばらみね

URL ☎ <http://www.oitavoc.jp> E-mail ✉ oitavoc@oitavoc.jp

～ボランティアの種を蒔いて育てよう～

発行所

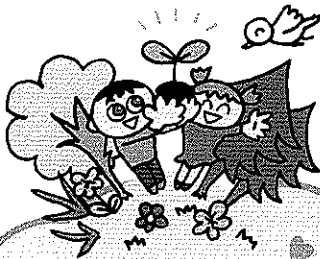
社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先

TEL (097) 558-3373
FAX (097) 558-1296

2009 March

No. 14



新入生・転入者さんにおもてなし

春、新入学や就職等で新顔さんがあちらこちらに見うけられる季節。街中がなんだか新しい空気に入れ替わった感じがしますね。そんな中、新入生や転入者さんも新しい環境でちょっぴり緊張してるかも。「生活する上で困ったことは誰に聞けばよいのだろう？」

「暮らしてゆく地域は、どんな所だろう？」住んでいる人は知っていて当たり前のことでも、新しく地域にやってきた人には分からないことだらけ。さあ、地域みんなが地元の広報係になって、新入生・転入者さんを“おもてなし”してみませんか？

おもてなし 1.

マップをつくって
“おもてなし”



* 地元の母親クラブ「日出町らんらんマップ」

(心地よく安心して暮らせる町づくりのきっかけに、ベビーカー世代から高齢者、車いすの方の視点でつくったマップ)。小規模ネットワークづくりは市町村社協に相談してみてくださいね。

ママたち、子どもたち、高齢者、障害者などそれぞれの目線を持ちより、マップを作ってみませんか？「避難所はどこ？」「自治会長さんの家はどこ？」「僕たちの遊び場はどこ？」「このお店のお得な情報は？」「通学に注意する道路は？」「お手伝いが必要なおばあちゃんの家はどこ？」など、書き込んでいる内に作っている人たちも地域の魅力再発見！

おもてなし 2.

お食事会
などを開いて
“おもてなし”



* 地元の行事を形式を変えて復活！大分市横塚地区の「嫁御まつり」

(嫁いできた女性を地区民が迎える行事でしたが途絶えていました。その後、名称をそのままに地区内にマイホームを購入した“新顔さん”の親睦会として復活させたもの)

みんなでご飯を持ち寄ってもよし、桜の木の下でお花見しながらもよし。顔見知りさんを増やすきっかけづくりになりますね。

おもてなし 3.

みんなで
野菜をつくって
“おもてなし”



* 大分市吉野地区の「ふれあい農園」

(耕作放棄地の拡大防止と農業の魅力伝えようと、農家以外の住民や農業に関心のある人に農業体験の場を提供。)

地域の人と一緒に汗を流して野菜づくり。自分たちの育てている野菜の成長具合を確認しながら通勤・通学なんて楽しそう！もちろん出来た野菜でみんなで収穫祭を開いても良さそうですね。

活動のポイント

- 地元の地図ならホームページからプリントアウトできます。4×3(よんさん)印刷 <http://latlonglab.yahoo.co.jp/4x3/>
- 自治会が行う地域の課題解決やふれあいの場づくりに助成金を交付しているところもあるので、活用してみても？

暮らしていく地域がどんなところか少しでも分かったら、もっと地域に愛着が湧いてきそうですね。安心して、気持ち良く暮らしてゆけるよう、みんながアイデアを持ち寄って取り組んでゆけるようになるといいですね。

ボランティア・市民活動者の活動報告

1月7日(水)

気の合う仲間で結成した「リコーダーアンサンブル ローズウッド」。冬休み中の津留小学校1～3年生のいる津留小学校育成クラブにて活動しました。

リコーダーといっても、手のひらサイズ位の小さなリコーダーから児童の背丈くらいある大きなリコーダーまであることに子ども達は興味津々。演奏が始まると、「これしつちよる!」「聞いたことある!!」と一曲一曲に敏感な反応を見せていました。



小学3年生はリコーダーの時間があるということで、途中一緒に演奏を楽しむ時間を作るなど構成にも工夫していただきました。『崖の上のポニョ』では、室内が本日最高の大盛り上がり!歌ったり、振り付けを真似て踊り出すほどでした。アンコールも沸き起こり大盛況に終わりました。

ボランティア活動ダイアリー

1月30日(金)

明治明野公民館を縁にグループを結成し活動をしている「明明(めいめい)ひよっとこ同好会」。

今回は、大分市明野にある「ケアパートナー明野」で活動!デイサービス利用者さんを前に、詩吟に始まり、民舞、フラダンスや歌などを披露。施設職員さんもお交えての「ズンドコ節」の踊りや利用者さんも参加してのフラダンスでお部屋全体が和やかな雰囲気。

メンバーと施設の男性職員さんの参加による「ひよっとこ踊り」で締めくくり、利用者さんからは「今までで一番楽しかった!」と、満足した声。「明明ひよっとこ同好会」さんの多芸ぶりに、笑顔の絶えない時間となりました。



◆ 今月は「ボランティア保険」の更新月です。 ◆

ボランティア活動を行ううえで、自分への行動に責任を持ち、万が一の事故に備えるために「ボランティア保険」があります。

この保険の補償期間は、年度で一区切りとなります。(平成20年度の補償は、平成21年3月31日をもって契約終了となります。)

現在加入中の方で来年度以降も継続される方、もしくは来年度ボランティア活動を希望される方は、今月中の加入手続きをおすすめします。

平成21年度

「ボランティア活動保険」

保険料の一例

Aプラン:260円

Bプラン:420円

Cプラン:590円

ほかにも、「ボランティア行事用保険」「福祉サービス総合補償」「送迎サービス補償」があります。

相談・加入申込先 市町村または県の社会福祉協議会の担当窓口

隣人
祭り

「ぶちぼら!!」

お花見シーズンが近づいてきたので!

日本人が大好きな?お祭り『お花見』。
「花を愛でるより私は団子」の方も
大歓迎!な「ぶちぼら」をご紹介します。

「隣人祭り」ってご存知ですか?

集合住宅に住んでいる住民同士、地域住民

同士、同じ職場で働いている人同士などが、無理なく楽しく、互いに知り合うための「きっかけ」づくり。それが、隣人祭りです。発祥はフランス。独り暮らしの高齢者が死後3ヶ月経って住んでいたアパートで発見された事を受けて、悲しい出来事を繰り返したくないと同じアパートに住んでいた住民が始めた活動です。

「隣の人は何する人ぞ」なんて言ってないで『お花見』をきっかけにご近所さんと交流を深めてみてはいかがでしょうか?気軽に集まって、食事やお茶をしたり、お話したり、イベントしたりと、お隣さんともう少しだけ距離を縮めて、日常をもっと楽しくしてみませんか?(不審者を見つけるより、顔見知りを増やしましょう!)

*「隣人祭り」日本支部 <http://www.rinjinmatsuri.jp/>

事業報告「平成20年度福祉教育研究発表会」

聖トマス大学教授
鳥居一頼氏

2009年2月20日(金)10:30より、ボランティア協力校に3年間の活動成果を発表してもらい、参加者に今後の福祉教育・ボランティア学習のヒントとしてもらおうと「平成20年度福祉教育研究発表会」が開催されました。

校内や地域においての児童・生徒のいきいきとした活動の様子が、小・中学校・高等学校代表の5校より発表され、参加者は今後の取り組みの参考にと時折メモをとるなど熱心な様子がみられました。

午後からは、聖トマス大学教授であり、NPO法人北海道ボランティア・コーディネーター協会を立ち上げ、道内の福祉教育・ボランティア学習の先駆者として活躍されている鳥居一頼氏をお迎えし、「子どもと学ぶ福祉教育の豊かさ」と題し講演をいただきました。『体験学習を進めるポイント』や『陥りやすい評価の視点』、『真の協力の意味とは』など午前の発表者であった生徒さん2人に急遽協力をいただき、身近に分かりやすい表現でお話いただきました。



*鳥居先生が紹介された「学校へのボランティアコーディネーション」のアクセスはこちら...「北海道ボランティアコーディネーター協会」(<http://hvca.main.jp/>)→「出版事業」→「ボランティアコーディネーションマニュアル」

『第4回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練』に参加して大分県のみなさんへお伝えしたいこと…

2月21日(土)・22日(日)の2日間、掲題の訓練に参加してきました。今年で4年目を迎えますが、いつも感じるのが、全国災害救援の猛者(約100名)を招いて静岡県をどのように支援するのかを考えてもらうという、凄く研修会だと思っています。東海地震を想定しているのですが、参加している愛知県や山梨県などにも被害が及ぶものと思います。しかし、この時はあくまで静岡県への支援を考える内容で進めます。



同時にもう一つ凄く思うのが、県内のボランティア参加者です。各地域30ヶ所程に別れて、それぞれの地域が被災しても地域の被災者を支援するために、支援センターを立ち上げるというのです。大きく、県災害ボランティア本部情報センター(静岡市)と西部(磐田市、中部(藤枝市)、東部(沼津市)、賀茂(下田市)の4つの支援センターを設置し、サテライトとして浜松市、静岡市、富士市、熱海市にも県災害ボランティア支援センターを立ち上げるという計画です。

今回は、2日目に下田市に開設予定の賀茂支援センター会場と研修会場とを衛星中継で結びながら2ヶ所で同時に研修会を開催しました。人がたくさん集まる研修会としても素晴らしいと思いますが、それを支援する企業の連合体も素晴らしいですね。もちろん企業の社会貢献(地域貢献)の一環でしょうが、この活動がボランティア活動者を通じて被災者を支援するのだということを、きちんと理解されているのが凄いですよね。

話を戻して、掲題の図上訓練ですが、静岡県内から参加されたボランティア(地域住民)約200名が、静岡県が発表している被害想定を細部にわたり読み込み、自分の住んでいる地域の危険性の把握や被害状況の確認をし、事前に何ができるのか?何を準備するべきか?日常から繋がっておかなければならないのはどのような専門性を持っている方々か?そもそも顔の見える関係づくりはどのようにしておくべきか?などをみなさんで考えます。そして、それを他の地域や県外のメンバ

ーにも知ってもらえるように各班が発表をします。

今年のテーマは『受援力』。耳慣れない言葉だと思いますが、東海地震クラスの災害が起こると、地域がいくら頑張っても到底太刀打ちできません。そこには、『被災地外からの支援のチカラを最大限に生かす被災地の『地域力』

(『受援力』が必要で、それは被災した地域がより早く復旧していくために備えておかねばならないチカラです。そして、これまでの被災地の教訓を学び、体制を創っておくことで被害が軽減されるのです。このことを日常からみなさんで共有し、準備するために、静岡県では大規模な演習が毎年開催されています。

外の子カラを柔軟に受け入れ、協働していくためには日常の取組が本当に必要になります。“災害時は日常が支える”これは私が講演時によく使う演題ですが、この言葉を大分県の皆さんにも考えて頂き、自分が助ける側へまわれる準備をそれぞれでお願いしたいと思います。あ、大分県でも静岡県規模の研修会が開催できたら良いのに……。



助成 第26回(平成21年度) 「老後を豊かにするボランティア活動資金」

地域に根ざした高齢者のためのボランティア活動への用具・機器類の購入を助成します。

助成金額: 1グループにつき10万円(上限)

申込期限: 平成21年5月末日

応募方法: 所定の申請書に県または市町村社会福祉協議会の推薦を得てご応募ください。

* 市町村社協へ配布をしています。ホームページからもダウンロードできます。(http://www.mizuho-ewf.or.jp)

お申し込み・お問い合わせ先 (財)みずほ教育福祉財団
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行本店内
Tel:03-3596-4532 Fax:03-3596-4531

募集 フットベースボール運営ボランティア募集

大分養護学校の生徒さんのフットベースボール競技を運営してくれる方を募集しています。

活動日: 毎週月・木曜日 時間: 15:15~17:00

場所: 大分県立大分養護学校(大分市大字志村)

* 所定の申込用紙にご記入の上、大分県立大分養護学校PTA会長宛へ提出してください。

お問い合わせ先

大分県立大分養護学校(担当: 高橋教頭先生)
〒870-0261 大分市大字志村763番地1
Tel:097-527-2711 Fax:097-527-2759

募集 スポーツ・レク等の支援ボランティア募集

障がい者(児)の方が参加するスポーツ・レクリエーション教室・各種大会・文化教室・交流イベントなどを支援するボランティアを募集しています。

活動内容例

- * スポーツ・レクリエーション教室の場合
スポーツ活動やレクリエーション活動の補助、活動前の準備や片付けなど。
- * 趣味・文化教室の場合
調理中の活動の補助、絵画や書道の補助、パソコン操作の補助など。

お問い合わせ先

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 大分県身体障害者福祉センター
〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号
TEL・FAX(097)558-4849 (担当: 中西)
http://shinsyo.niko.to/index.html

募集 知的障害者体育大会「ゆうあいスポーツ大会」 サポートボランティア募集

選手達の日頃の練習の成果をカー杯発揮できる体育大会のサポートをしてくれる方を募集しています。

昨年行われた「障害者体育大会 おおいた大会」でボランティアとして参加された方、また参加してみたかった方、ご応募お待ちしております!

日にち 5月16日(土)17日(日)

時間 16日14:00~17:00、17日8:30~16:30

場所 大分スポーツ公園 九州石油ドーム(大分市大字横尾)

活動内容 競技の準備・片付け、投てき等の測定、選手の誘導など競技運営のサポート

対象者 5月16日・17日の両日とも出席できる方

募集期間 ~4月15日(水)の17:00

お問い合わせ先

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号 Tel:097-558-3373

収集ボランティアさん、ありがとう! (敬称略)

古切手・書き損じハガキ・使用済みテレホンカード

- ・(株)ネオス 大分精密営業所
 - ・倉内 豊
- その他、ボランティア・市民活動ルーム前の収集ボックスに入れていただいた方

大分県盲人協会

* 換金をして、協会活動費に役立てられています。

中古テニスボール

楊志館高等学校

* 椅子や机の脚元に取付けると防音効果があり、騒音に障がいを持つ児童・生徒さんのいる学校などで、特に喜ばれています。

収集ボランティア「中古テニスボール」についてのお願い。

現在、「中古テニスボール」受取り希望団体がなく、3000個ほどを保管している状態です。そこで、テニスボールが必要という希望が出た際に、個人・グループのみならず呼びかけ、ご協力を仰ぎたいと思います。「提供者登録」にご協力いただける個人・グループのみならず、大分県ボランティア・市民活動センターまでご連絡をお願いいたします。また、「テニスボールを机や椅子に取り付けたい」とご希望の施設・学校等のご連絡も併せてお待ちしております。

県ボラ 活用術



大分県ボランティア・市民活動センターには、無料で利用できるお部屋やDVD・ビデオがあるのをご存知ですか?
どんどん活用してグループや個人のスキルアップにお役立てください。

ボランティア・市民活動ルーム

① 輪転機使用でコピーが1枚1円でできる! (用紙は持ち込みしてください)

* ただし、県および市町村社協に登録しているボランティア・市民活動の団体・個人およびNPO法人さんが、原稿1枚を10枚以上コピーされる場合に利用できます。

② お部屋の使用料は、無料!

* ただし、ボランティア・市民活動を行うにあたるミーティング等に対して無料でお部屋をご利用いただけます。(事前予約をお願いします)

ボランティア・市民活動ルーム開室時間

月曜日~土曜日 9:00~20:30 平日の17:00以降及び
水曜日、日曜日、祝日 9:00~16:30 土、日、祭日は事前に予約

DVD/VIDEO

福祉系、ボランティア系、災害系のDVDやビデオの貸出しが無料!

* 貸出し内容については別に冊子がありますので、事務局へ声かけしてください。(HPでも紹介しています)

大分県

ボランティア・市民活動センター
開所時間 8:30~17:15(平日)

編集後記

春は「出会いの季節」と同時に「別れの季節」。
当センターの所長も3月で退職です。

日曜大工とみんなで楽しくお酒を飲むことが大好きな、ほがらかで優しい方。退職後もそうそうゆつくりはしていただけないようで、今まで以上に地域活動等に忙しい日々を送られるとのこと。
私が福祉の職場に入り、丸1年が経とうとしています。その間、たくさんの方と知り合うことが出来ました。自分の力不足を痛感する毎日ですが、出会えた方々に支えていただけたことに感謝。所長との出会いにも感謝。
平山所長、お疲れさまでした。
(R)